

もしものための

郵送検診

ピロリ菌

家族に検診を受けさせたい



定期的に検診を受けてないけど健康状態は気になる



今健康だし、検診はまた今度で大丈夫



病院は混んでるから待ちたくない



2人に1人ががんにかかる時代です。自分のために、家族のために、がん検診を受けてみませんか？郵送検診はご自宅で手軽に受けられる検診です。時間がなくて定期的に検診が受けられない方はもちろん、元気だから大丈夫！と思っている方も健康づくりの第一歩としてご活用ください。

申込
締切

令和
8年

12月31日(木)

5分でできる検査で早期発見！ピロリ菌検査のお知らせ

実施要項

受診対象者

被保険者および被扶養者 ※年齢制限はありません。
 (当健保に未加入の被扶養者は対象者になりません。)
過去の検査で陰性と診断された方、陽性と診断されて除菌治療された方は、再度の検査は不要です。

個人負担金支払方法

郵便、コンビニ振込用紙をキットの中に同梱します。
 到着後、1週間以内にお振込みください。
 ※申込者には、申し込みした時点で個人負担金が発生します。

申し込み方法

右下の「WEB申込方法」にしたがって、QRまたはURLのお申し込みサイトよりお申し込みください。

申し込み〆切

令和8年
 12月31日(木) 到着分まで



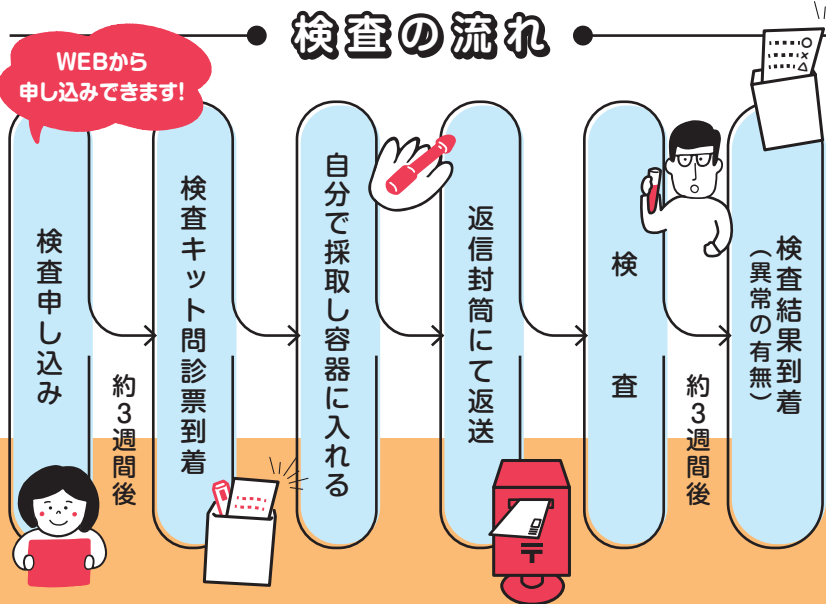
申し込み後

申し込み後3週間後に申込者宛に検査機関から検査キットが送付されます。

結果報告

検体郵送後、約3週間で受診者宛に検査機関から郵送されます。

検査の流れ



WEB申込方法



Step 1

https://ec.kenkoujin.jp/jwa/JWA101/JWA101_001/Init/mmcpyl
 サイトにアクセス。

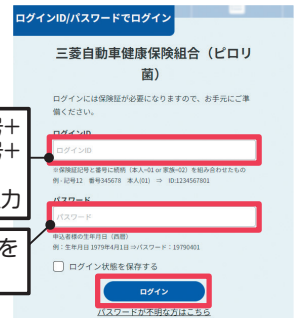


Step 2

ID・パスワードを入力してログイン。

資格情報のお知らせ等記号+資格情報のお知らせ等番号+続柄(本人=01or家族=02)を入力

申込者の生年月日を8桁の数字で入力



胃がんとピロリ菌

もっとも胃がんがしやすいのは幽門部(幽門前庭部)で、胃の出口、十二指腸へとつながります。胃がんは食生活と密接な関係があり、食塩の過剰摂取とも関係するといわれています。ヘリコバクター・ピロリ(ピロリ菌)も深く関わっているとされます。食事や生活習慣の変化から、若年層には少なくなっていますが、人口の高齢化を反映、死亡数や罹患数は決して少なくありません。胃がんはとくに日本人に多いがんで、1998年に肺がんに追い抜かれるまでがん部位別死因のトップでした。現在は部位別死因の3位で、罹患数は大腸がんに次いで2番目に多いがんです。早期の段階で見えれば、良好な経過が期待できるがんです。

公益財団法人 日本対がん協会より引用

検査方法

ピロリ菌検査

胃がんリスクチェック



● ヘリコバクター・ピロリ抗体 — ピロリ菌の有無
 胃炎や胃潰瘍の原因と言われているピロリ菌の感染をスクリーニング(ふるい分け)する検査です。日本で胃がんの死亡率が高いのはピロリ菌によるものとも言われています。

検査キットの使用方法はこちら▶



検査内容や検査器具等のお問い合わせはこちらまでご連絡ください。

(株)あまの創健
 郵送検診窓口

フリーダイヤル 0120-88-1216

● 問い合わせ時間: 月曜～金曜 9:00～12:00/13:00～16:00 (土・日・祝はお休みです)